

令和3年度
(2021年度)

事業報告書

公益財団法人 吹田市国際交流協会

令和3年度（2021年度）事業報告

当協会は、人権尊重を基調とした地域社会づくりに寄与するため、吹田市が進める多文化共生社会推進の考え方にもとづき、市民主体の国際交流活動の支援、多様化する社会で活躍できる人づくり、在住外国人支援等、多文化共生社会の推進に関わる事業を実施しています。

令和2年度から引き続き、当協会の各事業も新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けました。このような状況の中で、協会が実施した事業の概要は以下のとおりです。

[定例事業]（継続事業）

感染症対策に配慮し、さまざまな工夫をしながら「令和3年度事業計画」と「多文化共生アクションプラン〈令和2年度に始まる中長期計画書〉」にもとづき、Ⅰ 市民主体の国際交流・国際協力、Ⅱ 国際化推進の人づくり支援、Ⅲ 在住外国人の支援事業を実施しました。令和3年度は、国際交流協会だけでは対応しきれないような案件が増えました。吹田市所管や社会福祉協議会及び吹田市教育委員会、大阪府教育庁、民間支援団体等と積極的に情報共有や連携を進め対応しました。

11月に開催した多文化まつりでは、当協会としては大阪メトロより広告協力を得ることができました。

[その他の事業]（民間助成金・単年度事業）

「多文化共生社会におけるこどもの命を守るための防災事業」

（真如苑 市民防災・減災活動助成金：2021年8月から2022年7月）

協会 SIFA の定例事業の子育て支援事業「こあらくらぶ」とボランティアによる日本語学習支援活動「日本語わいわい」を中心に、外国人市民と地域住民と一緒に参加する防災事業を実施しました。また、吹田市所管や危機管理室、社会福祉協議会等からも参加がありました。防災グッズの簡単な作り方や使い方などを日本語学習者と一緒に動画撮影をしました。この動画は多言語にして令和4年7月までに配信する予定です。

I 市民主体の国際交流・国際協力

市民の自主的な国際交流・国際協力の活動を支援します。自分たちとは異なる言語、文化的・社会的背景をもつ人びととの対話を通して、市民が国際感覚を養い、多様な人びとを認め合い尊重し合う多文化共生社会の実現の推進に努めます。

1 友好交流都市との交流事業（吹田市補助金事業）

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため、友好交流都市との交流事業の実施には至りませんでした。

市民主体の国際交流という視点に立ち、社会がオンラインでつながりやすくなっている状況を利点として、多様な人と交流する機会(場)づくりをコンセプトに、下記のような交流と語学学習を合わせた事業を実施しました。

・「韓国のお正月」 講師：朴家英

日時：2月2日(水)

内容：韓国のお正月を題材に挨拶、料理、遊びを紹介し、文法や単語を学びました。訳語だけではなく、どういった時にどの言葉(単語)を使うか、文化の違いや表現について学びました。

参加者：22名

・「南アフリカ共和国の文化と社会」 講師：Douglas Rodger James

日時：2月25日(金)

内容：先生が生まれた南アフリカの街の様子や人口、文化、食文化をはじめ、国の象徴である動物やその習性、エリアごとの言語や民族があることなど多岐に渡って紹介しました。その後、オンラインで先生の南アフリカの実家につなぎ、先生の家族とコミュニケーションを楽しみました。

参加者：5名

・「アメリカと日本のメンタル・ヘルスに対する違いについて」 講師：Hosea Baker

日時：3月14日(月)

内容：世界メンタルヘルスデーを題材にしました。メンタルヘルスへの考え方や症状が発生した時の日本とアメリカの対応の違いについて学びました。子どもの時はどのようなメンタルの問題が起こりやすいのか、メンタル・ヘルスとのかかわり方について参加者と一緒に考えました。

参加者：3名

2 国際交流情報の収集及び発信（ホームページは吹田市補助金事業、他は自主事業）

ア. 会報SIFA Timesの発行

年4回発行しました。

発行時期と部数：7月号（No.277）1,800部、10月号（No.278）1,800部、
1月号（No.279）1,800部、3月号（No.280）2,100部

イ. 国際交流情報の収集及び発信

ホームページとフェイスブック多言語化、留学生や在住外国人向けの多言語メーリングリスト「ミミヨリINFO」などの活用により、適切な情報発信に努めました。

ウ. ホームページのリニューアル（吹田市補助金事業）

6月30日より新ホームページ公開、WOVN社の多言語翻訳システムを導入しました。WOVN社の多言語翻訳システムの導入により、ワクチン接種情報などの発信等即時性を高めることができました。しかしながら、その翻訳精度は決して理想的とは言えず、結果的に多言語化するのにボランティアに翻訳修正を依頼することになりました。令和4年度5月に契約終了後、継続契約は締結しないことにしました。

公開記事数（6月1日以降）：86件（SIFA関連46件、その他団体40件）

翻訳ボランティア：延べ10名

3 市内大学との連携による留学生等との市民の交流（吹田市補助金事業）

ア. 市内大学等のホストファミリープログラムの支援

市内の大学などのホストファミリープログラムの支援（吹田市補助金事業）は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、留学生の来日が困難となり、事業は全て中止となりました。例年実施してきたホストファミリーボランティア説明会兼研修会と、ホストファミリー交流会も併せて中止しました。

II 国際化推進の人づくり支援

多文化共生社会の推進のために、市民が他者理解の重要性を理解するための機会を増やし、未来を担う子どもたちが多様な人たちとの出会いや交流・体験学習を通して、持続可能な社会形成のために活躍できる人材づくりを推進します。

1 国際交流ボランティア活動支援（吹田市補助金事業）

ア. 国際交流ボランティア登録

初めてボランティア活動をしようとする希望者に、ボランティア活動に関するセミナーを実施します。その後、協会の理念や活動内容について説明し、協会の国際交流ボランティア登録を実施しました。

「はじめてのボランティア活動」 講師： 矢野眞里加(市民公益活動センターラコルタ)

日程： 2月23日(火・祝) 10:00から11:50（対面とオンライン）

参加者： 37名 新規ボランティア登録者： 20名

（ボランティア登録者： 192名 うち外国籍者： 12名）

イ. ボランティア講座

SIFA日本語ボランティア教室への参加を希望するボランティア登録者を対象に、やさしい日本語やボランティアの心構えなどの簡単なガイダンスを実施しました。希望者が参加しやすいよう、同じ内容の講座を平日と土曜日に実施しました。

「はじめての日本語ボランティア」 講師： 榎原智子（SIFA日本語教室講師）

日程： 4月1日（木）、4月3日（土）

参加者： 10名（1日 6名、3日 12名）

ウ. ボランティアによる日本語学習支援

地域で日本語学習支援を実践している団体と情報共有を積極的に行い、日本語学習へのアクセスのしやすさを強化しました。また、2020年4月の「日本語交流活動宣言」にもとづき、ボランティアとの関係づくりやボランティア・コーディネートにも積極的に取り組みました。

・日本語チューター

ボランティアと学習者が1対1または1対2で日本語習得支援を行うクラスです。学習者の日本語レベルや要望はさまざまなので、それぞれに寄り添った支援をしています。朝と夜のクラスに関しては、4月から6月の間は新型コロナウイルス感染症拡大のために、オンラインで活動を継続しました。

日時： 朝チューター 全41回、うちオンライン10回（4月20日から6月29日）

夜チューター 全41回、うちオンライン10回（4月21日から6月30日）

オンラインチューター： 全925回

会場： 市民公益活動センター ラコルタ、SIFA、各種オンラインツール

参加者： 朝チューター延べ 336 組、夜チューター延べ 298 組、

オンラインチューター延べ 925 組

・ にこここ日本語

外国人学習者とボランティアが小グループで「おしゃべり活動」を通して日本語習得支援をしました。SIFA が作成した対話型教材「はじめてのにこここ」と「にこここ」を使用し、生活に密着したさまざまなテーマについておしゃべり活動をしました。

日程：全 42 回（オンライン期間 4 月 28 日から 6 月 19 日）

※9 月 18 日は台風のため休講

場所：SIFA / オンライン

学習者： 延べ 375 名

ボランティア： 延べ 410 名

参加費： 月 500 円

・ みんなの漢字

外国人学習者とボランティアが小グループに分かれてプリント教材を使い、生活のさまざまな場面で目にする漢字を学ぶクラス。

日程： 全 42 回（昨年度は 18 回）

（※4 月 24 日から 6 月 19 日はコロナ感染症拡大予防の為に休止）

場所： SIFA

学習者：延べ 130 名 ボランティア：延べ 190 名

参加費：月 500 円

・ 日本語わいわい

外国人学習者とボランティアが小グループに分かれて「わいわい」とおしゃべりをすることで、日本語習得の支援をするクラス。外国人ボランティアが日本で暮らす「先輩外国人」として参加しました。

日程： 全 41 回（昨年度 30 回）

（うちオンライン期間： 4 月 23 日から 6 月 18 日、9 月 3 日から 9 月 24 日）

場所： SIFA、ラコルタ、市民センター / オンライン

学習者： 延べ 254 名 ボランティア： 延べ 279 名

参加費： 1 か月 500 円

- ・ 日本語ボランティア交流会

SIFA 日本語ボランティアを対象に、それぞれのボランティア活動について知り、クラスを超えて日本語交流活動をする上での工夫や課題を共有することを目的に実施しました。

日程： 2月3日（木） 10:00 から 11:30

会場： オンライン

参加者： 11名

2 語学教室（自主事業）

学習者の知識や技術習得だけでなく、さまざまな国の文化や生活習慣を知る機会を提供し、外国語に慣れ親しむことから国際理解に対する理解を深め、地域でともに生活する隣人としての外国人市民への支援の重要性を伝えました。また、子どもたちには英語学習を通して国際理解と多文化共生への関心を深め、グローバル人材の育成にも努めました。昨年度に引き続き、旭通教室での授業を継続しました。（通年クラスの人数は2021年1月現在）

※休講期間： ①4月6日から6月13日（緊急事態宣言の要請対応）、②12月7日から12月22日（大阪府医療非常事態宣言の要請対応）

ア. 通年クラス

a. 通年クラス(大人)

英語（講師： Hosea Lee BakerⅢ、Nhon Nguyen、Douglas Rodger James、Marc-Eric Tremblay、Ruben Valles、Karen Miyuki Egawa）

21クラス(旭通教室1クラス) 受講者：132名

中国語（講師：山口小百合）

2クラス(旭通教室1クラス) 受講者：9名

韓国朝鮮語（講師：朴家英）

3クラス 受講者：23名

b. 通年クラス(子ども～学齢期)

親子(幼児)英語（講師： Brian Rowlinson、Douglas Rodger James、Hosea Lee BakerⅢ、Karen Miyuki Egawa）

3クラス 受講者：14組

小学生英語（講師： Brian Rowlinson、Douglas Rodger James、Ruben Valles）

14クラス(旭通教室3クラス) 受講者：69名

中学生英語（講師： Ruben Valles）

1クラス 受講者: 5名

高校生英語 (講師: Ruben Valles)

1クラス 受講者: 1名

イ. 短期クラス

- 英語でChat (レベル2-3) (講師: Nhon Nguyen)
開催日: ① 5月7日から7月9日 全10回 受講者: 6名
② 10月1日から12月3日 全10回 受講者: 6名
③ 1月7日から3月18日 全10回 受講者: 5名
- はじめてのハングル (入門) (講師: 朴家英)
開催日: 5月12日から7月14日 全10回 受講者: 7名
- 英語でディスカッション (レベル3-4) (講師: Marc Tremblay)
開催日: 7月5日から3月14日 全26回 受講者: 7名
- 英語でスケッチ (講師: Nhon Nguyen)
開催日: 9月1日から11月10日 全10回 受講者: 4名
- 台湾語を学ぼう (講師: 溝越茜)
開催日: 9月1日から11月10日 全10回 受講者: 5名
- 韓流! 美と食を探る (講師: 朴家英)
開催日: 9月7日から11月9日 全10回 受講者: 10名
- ネイティブが使う英語 (レベル3-4) (講師: Hosea Baker)
開催日: ① 10月1日から12月3日 全10回 受講者: 4名
② 1月7日から3月25日 全10回 受講者: 7名
- 親子でシング&チャンツ (講師: Ruben Valles)
開催日: ① 10月5日から11月30日 隔週・全5回 受講者: 3組
② 1月11日から3月8日 隔週・全5回 受講者: 5組

ウ. 多言語アワー

- ベトナム語 (講師: ファム・フィ・ハイ・イエン)
開催日: 11月5日から12月10日 全6回 受講者: 5名
- ドラマで学ぶハングル(レベル1-2) (講師: 朴家英)
開催日: 1月11日から3月15日 全10回 受講者: 6名

エ. Kids サマークラス (講師: Rodger Douglas)

開催日:8月2日～8月4日

- ① 小学1・2年初心者 受講者: 10名
- ② 小学1・2年初心者追加クラス 受講者: 3名
- ③ 小学1・2年経験者 受講者: 6名
- ④ 小学3～6年クラス 受講者: 10名
- ⑤ 小学3～6年クラス追加クラス 受講者: 6名

3. 異文化理解・啓発事業(吹田市補助金事業)

ア. 多文化まつり 2021

地域の人びとと在住外国人が集い、地域の交流をはかり、多文化理解を深め、多文化共生社会の実現に寄与することを目的として開催しました。感染拡大防止のため、従来のような大規模のイベントではなく、「多文化まつり月間」とし実施日を分散しました。実施方法は、対面、オンライン、屋外での活動等の工夫をしました。

日時: 11月1日(月)～30日(火)

会場: ラコルタ等

参加者: 約250名

	日時	会場	参加者	
すいたウォーク (南千里コース)	11月6日(土) 9:30-12:00	南千里周辺	10名	
すいたウォーク (吹田村コース)	11月21日(日) 9:00-12:00	JR吹田周辺	13名	
外国人いどばた会議	11月7日(日) 13:30-15:00	ラコルタ	7名	※詳細は「多文化ぷらす」参照
親子のための健康 と防災	11月17日(水) 10:00-12:00	ラコルタ	7組	※詳細は「真如苑防災 事業」参照
すいた de シネマ	11月20日(土) 9:30-11:30	市民センター 多目的ルーム	22名	
多文化ぷらす ベトナムにルーツをもつ子ども たちが教えてくれた多文化 共生	11月23日(火・祝) 13:30-15:00	オンライン	35名	※詳細は「多文化ぷらす」参照
世界わいわいめぐ り	11月27日(土) 10:30-13:00	ラコルタ	約70名	
SIFA ギャラリー	11月1日(月)～ 11月30日(火)	SIFA 廊下	約80名	

吹田&大阪おすすめスポットMAP	11月1日(月)～ 11月30日(火)	SIFA 廊下		
ハロハロ企画 クイズラリー	11月27日(土) 9:30-15:00	SIFA 廊下		
フェアトレード商品紹介	11月27日(土) 9:30-15:00	SIFA 廊下		

イ. 多文化共生講座「多文化ふらす」

多文化共生社会について理解を深めるための講座や、一緒に考え語り合うイベントを3回実施しました。

- ・多文化ふらす「在住外国人と語り合う～わたしと料理と多文化交流」

日時: 8月22日(日)

場所: 吹田歴史文化まちづくりセンター 浜屋敷

共催: 特定非営利活動法人 吹田歴史文化まちづくり協会

講師: 世界の料理ピロギ・ジャパン(ヴィクトリア ブヤコフ(ロシア)、張 玉蘭(中国)、
ファティメ モタバリプール(イラン))

参加者: 9名

内容: グループを立ち上げたきっかけ、これまで直面してきた課題、地域活動を通じた多くの出会い、多様な文化を持つ人たちが一緒に活動するための工夫などについて、写真を交えながらの説明がありました。

- ・「外国人いどばた会議」

日時: 12月7日(日)

ネリスト: 許 紅華(中国)、ソク ヨンホ(韓国)、ダハル プスパラル(ネパール)

場所: ラコルタ

参加者: 4名

内容: 日常生活における困りごとや悩みを共有し、情報交換できる場をつくるスタートとして施しました。職場での悩みや子どもの学校のこと、日本語学習などについて、互いに相談をする時間となりました。

- ・「ベトナムにルーツを持つ子どもたちが教えてくれた多文化共生」(オンライン)

日時: 12月23日(日)

講師: 近藤美佳(大阪大学大学院言語文化研究科 助教)

参加者: 35名

内容：講師自身の小学校などでの母語学習支援の活動経験から、事例を挙げながら母語支援の重要性と難しさについて話がありました。多文化共生について、参加者が一緒に考える機会となりました。

4 子ども国際理解事業(吹田市補助金事業)

出前授業「国際理解パッケージ」低学年向けの「がっこう編」、中・高学年向けの「食べもの編」「モノ編」の3種類を、吹田市教育委員会の予算で行う「ドキドキワールド」の授業として吹田市内の小学校で実施しました。

パッケージは、コーディネーター(有償ボランティア)による各テーマ(食べもの等)の日本と世界のつながりについての話とそれに関連したクイズ、外国人講師によるプレゼンテーション、そして子どもたちからの質問コーナーで構成されています。

コーディネーター(有償ボランティア)3名、外国人講師延べ9名

全10件20回 参加児童数：839人

- ① 11月10日(水) 2回 吹田市立千里第一小学校4年生2クラス 66人
「食べもの編：韓国」
- ② 11月17日(水) 2回 吹田市立岸部第一小学校4・5・6年生4クラス 126人
「モノ編：台湾」
- ③ 11月19日(金) 2回 吹田市立千里第一小学校4年生2クラス 66人
「食べもの編：台湾」
- ④ 12月2日(木) 2回 吹田市立山田第三小学校5年生2クラス 57人
「食べもの編：コロンビア」
- ⑤ 12月13日(月) 2回 吹田市立古江台小学校2年生3クラス 87人
「がっこう編：タイ」
- ⑥ 12月20日(月) 2回 吹田市立古江台小学校4年生3クラス 90人
「食べもの編：アメリカ」
- ⑦ 2月4日(金) 2回 吹田市立古江台小学校3年生3クラス 91人
「食べもの編：台湾」
- ⑧ 2月8日(火) 2回 吹田市立古江台小学校1年生3クラス 91人
「がっこう編：モンゴル」
- ⑨ 2月25日(金) 2回 吹田市立古江台小学校6年生3クラス 92人
「食べもの編：中国」
- ⑩ 3月14日(月) 2回 吹田市立江坂大池小学校6年生2クラス 73人
「食べもの編：中国」

5 国際交流団体など支援・連携事業

- ・ 共催・後援・協力事業の実施（自主事業）

[後援]

（一財）言語交流研究所・ヒッポファミリー

内容：講演会「7カ国語で話そう」

日時：2月20日（日）

- ・ MUSEたかつきカレッジクラブ講座（株式会社関大パンセ受託事業）

株式会社関大パンセより委託されている小学生を対象とした英語教室を開催しました。本年度は、日程数を増やして開催する予定としていましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により日程数を予定より減らしての実施となりました。

講師：Douglas Rodger James

講座：「Easy Peasy English」

Aコース 小学校1～2年生対象 16:00～16:50 参加者：5名

Bコース 小学校3～6年生対象 17:00～17:50 参加者：5名

日程：10月1日（金）～11月5日（金）各金曜日 全12回

会場：ジオタワー高槻ミューズフロント3階 多目的ルーム

- ・ 関西大学南千里国際プラザとの連携（自主事業）

春と秋に開催された関西大学別科の入学式、修了式へ出席し（オンライン含）、地域団体の代表として挨拶をしました。地域の中での受け入れ支援体制について、情報提供などに努めました。

- ・ 国際交流協会ネットワークおおさかを通じた他団体との連携（自主事業）

大阪府内の国際交流協会による「国際交流協会ネットワークおおさか実行委員会」（構成11団体）に参画し、ボランティア団体や国際交流関係団体、機関などとのつながりの場を作り、さまざまな情報を相互交換し、広域的な相互連携、協力できる体制を継続しました。

定例会：毎月1回

場所：大阪国際交流センター（オンライン併用）

構成団体：池田市市民生活部人権・文化国際課、和泉市総務部人権・男女参画室、（公財）大阪国際交流センター、（公財）大阪府国際交流財団、（公財）吹田市国際交流協会、（公財）とよなか国際交流協会、（特活）とんだばやし国際交流協会、（公財）箕面市国際交流協会 / オブザーバー：大阪府都市魅力創造局国課、堺市文化観光局国際部国際課、（特活）多文化共生マネージャー全国協議会

- ① 大阪弁護士会との連携事業

- ・研修会及び座談会

講師：原啓一郎(弁護士)

日程：11月5日 場所：大阪国際交流センター

- ② 外国人のための法律相談会

日程：12月4日 場所：和泉市

- ③ 研修企画

- ・「対人支援の基本について、ロールプレイ」

日程：11月16日

講師：山中京子(大阪府立大学)

- ・「フォーラム・シアター」

日程：2月4日

講師：内山唯日

場所：大阪国際交流センター

Ⅲ 在住外国人の支援

地域に暮らす外国人市民が、言葉が要因となって抱える困難を解決するための支援をします。さらに、外国人市民が支援される側だけではなく、支援する側となってコミュニティで各自の持てる力を発揮し協働する地域づくりを推進します。

1 日本語教室の開催（吹田市委託事業）

ア. 日本語1・2

生活に必要な日本語を学ぶクラスです。日本語1（入門レベル）と日本語2（初級レベル）のクラスを開講しました。クラスは、講師がテキストを使って授業を行いました。1回90分のクラスを週2回実施しました。午前中のクラスには、ボランティアによる保育を設けました。今年度4から6月までは緊急事態宣言のため対面での授業を開講できませんでしたが、すぐにオンラインへ移行し、日本語の学びが止まらないようにしました。7月には対面で授業を行いました、8月に再度緊急事態宣言が出た際にオンラインへ切り替えました。

実施日：4月1日（木）から3月31日（木）

※4月19日から6月24日、8月26日から9月30日 オンライン

日本語1：全83回（内、オンライン4～6月は18回、8～9月は9回）

日本語2：全83回（内、オンライン4～6月は18回、8～9月は9回）

実施場所：SIFA / オンライン

講師：後藤範子、榎原智子

・ サマーコース

通年クラスの夏休み期間中に、主に入門から初級レベルの学習者を対象に5日間連続の講座を実施しました。講座内容は、通年クラスの復習と会話練習です。コロナウイルス感染症の影響を考え、入門・初級コースはオンラインクラスとして実施しました。後半の3回はレベルを問わず参加できる日本文化についての講座としました。

当初は教室で実施予定でしたが直前に対面活動中止となり、急遽オンラインに切り替えて実施しました。8月は通年クラスがすべて休講としてきましたが、今後もサマーコースを継続してほしいとの要望がありました。

日時：入門・初級コース 8月2日（月）から6日（金） 全10回（各5回）

いろいろコース 8月18日（水）から8月20日（金） 全3回

開講方法：オンライン

講師：後藤範子、榎原智子

学習者：延べ95名（入門23名、初級47名、いろいろコース25名）

・ 日本語教室発表会

SIFAの日本語教室に通う学習者が年1回、日本語で思いを伝え、地域住民と交流をはかる機会として実施しました。今年度は感染対策を十分に行い会場への観覧も可能としました。また、今回はYouTubeでの生配信を行い、発表者の家族や知人も発表を観られるように工夫しました。

日時：12月12日（日）

場所：市民センター（対面）とオンライン（YouTube配信）

発表者：12名 観覧者：約30名 YouTube配信視聴者：約20名

・ オンライン会話クラス

通年クラスではなかなか会話練習の時間がとれないため、入門から初級レベルの学習者を対象に会話練習を中心に行う全6回（入門3回、初級3回）のオンラインコースを実施しました。

日時：全6回

① 入門3回：1月12日（火）、1月19日（火）、1月26日（火）

② 初級3回：2月2日（火）、2月9日（火）、2月16日（火）

実施：オンライン

講師： 後藤範子、榎原智子

学習者： 延べ21名（入門6名、初級15名）

2 コミュニティ通訳ボランティア同行事業

日本語による会話が十分でない在住外国人市民が、ことばの壁により行政サービスや医療機関などを利用する機会が失われないように、SIFAに登録しているコミュニティ通訳ボランティアが同行し通訳をしました。病院からの依頼は主に外来での診察や検査時の同行が多く、保健センターからは乳幼児の定期健診や利用者宅への乳児訪問への同行依頼がありました。同行謝礼は、1件(同行3時間迄)につき3000円です。

ア. コミュニティ通訳ボランティア病院同行事業

依頼件数： 88件（当日キャンセル4件、事前キャンセル2件、通訳者都合によるキャンセル1件）

4月6件、 5月3件、 6月10件、 7月5件、 8月8件、 9月7件、
10月9件、 11月9件、 12月10件、 1月7件、 2月7件、 3月7件

依頼言語： 英語57件、中国語31件

場所： 吹田市民病院(54件)、済生会吹田病院(21件)・済生会千里病院(0件)、
保健センター(13件)、井上病院(0件)

病院通訳ボランティア： 16名(英語 8名、中国語 8名)

・コミュニティ通訳関係者会議

コロナ禍における現状の報告と課題について意見を交換しました。

日程：8月4日（水）

参加者：6名（吹田市民病院、済生会千里病院、保健センター、SIFA職員）

・ボランティア勉強会

保健センターが行う新生児訪問(産後ケア)について、訪問時に使われる質問票の表現等、同行時に役立つ英語のレクチャーをしてもらいました。

日時：9月22日（水）

講師：Douglas Rodger James

参加者：5名

3 コミュニティ通訳ボランティア行政窓口同行・スキルアップ事業(吹田市委託事業)

ア. コミュニティ通訳ボランティア行政窓口同行

外国籍市民が吹田市役所等で各種手続きや相談等を行う際に同行・通訳し、円滑に手続きや相談が行われ、公平な行政サービスを受けるためのサポートをしました。保育幼稚園室・学校教育室からの依頼が多く、懇談会や入学・入園(所)に関する説明会への同行や必要書類提出の通訳などでした。その他の室課からは、育成室入室手続き、マイナンバーに関する手続き、児童手当申請に関する通訳依頼がありました。

同行先：吹田市役所庁舎内(放課後子ども育成室、子育て給付課、市民課、他)12件、
市内こども園及び小学校等 40件

同行者：行政通訳ボランティア 30名

(英語 14名、中国語 11名、韓国朝鮮語 2名、ベトナム語 2名)

依頼件数：52件(緊急事態宣言によるキャンセル3件、通訳手配不可1件)

4月6件、5月0件、6月5件、7月4件、8月2件、9月3件、

10月6件、11月4件、12月7件、1月3件、2月4件、3月8件

依頼言語：英語 47件、中国語 4件、ベトナム語 1件

イ. 行政窓口通訳ボランティア養成講座(オンライン)

コミュニティ通訳概論や倫理、基礎トレーニングに関する講座をオンラインで実施しました。通訳、スキルトレーニングの倫理と実践、通訳時のメモ取りの方法、サイトトランスレーションなどについて、事前に吹田市役所市民課や国民年金課の職員による講義を撮影し、受講者が視聴できるようにしました。修了試験をさまざまな事情で受験できなかった場合、試験問題をメール送付し、後日提出してもらうようにした。新たにフランス語3名、ネパール語1名の同行が可能となりました。

日時：12月3日(金)から4日(土)

講師：水野真紀子(金城学院大学)

参加者：7名

修了試験：フランス語 3月23日(水)、ネパール語は受講者がネイティブスピーカーで日本語で仕事をしている状況からペーパーテストのみ実施

ウ. スキルアップ研修

- ① 通訳者の役割・通訳倫理遵守の重要性・通訳者の介入と事例検討の講義をオンラインで実施しました。

日時：10月4日(月)

講師：飯田美奈子(行政通訳・相談コーディネーター、医療通訳士)

参加者：16名

- ② 行政通訳で依頼件数の多い保育幼稚園室担当者から、保育園・幼稚園(こども園)の制

度面や利用者の様子等について講義があった。

日時： 1月21日（金）

講師： 小林貴美子（吹田市保育幼稚園室）

参加者： 16名

4 地域事業への在住外国人の参加促進

日本語教室に通う学習者や、留学生の多くが登録している多言語メーリングリスト「ミミヨリ INFO」を活用し、新型コロナウイルスやワクチン接種の情報はじめ、市民公益活動団体や地域の商店街などが主催する地域行事等に、在住外国人が参加しやすくなるようにSNS等を利用して情報提供しました。

登録者数： 360名 配信： 49回

5 その他の外国人への支援

ア. ハロハロ SQUARE（外国にルーツをもつ子どもの学習支援事業）（吹田市補助金事業）

外国にルーツをもつ小学生から高校生の学習支援を実施しました。学校の勉強や日本語学習などそれぞれの課題をボランティアと一緒に学習しました。子どもたちが安心できる居場所となるように、学習以外にもボランティアと将来のことや学校生活についての話し合い、ゲームタイムやお楽しみ会も実施しました。新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じて、Zoomでの活動も取り入れました。Zoomにおける活動でも、個別の学習活動のほか皆と一緒にゲーム等を楽しむ時間を作りました。中学生には、子どもたちが将来に希望が持てるよう、当事者の大学生のボランティア等から進学や将来のこと、高校や大学の学びなどを話してもらう機会を作りました。多文化まつりでは「ハロハロクイズラリー」を企画し、子どもたち自身がクイズを考え、回答用紙もデザインしました。

また、市教委が主催する「さくら広場」との連携も強化され、月1回さくら広場の教員ミーティングに参加し、子どもたちの状況について情報共有ができるようになりました。

日程： ① 4月9日（金）から3月18日（金）（全46回） 課業日毎週金曜日に実施

対面 18:00から20:30（31回）、オンライン 4月16日から6月25日、
9月3日から9月24日 18:00～19:30（15回）

② 夏休み自習室： 7月30日～8月13日 15:00～17:00（全3回）

③ 春休み自習室： 3月22～4月4日 15:00～17:00（全3回）

会場： SIFA 教室 / Zoom

参加者： 外国にルーツをもつ子ども 22人名（延べ 456人）

（高校入学準備 2名、中学生 6人、小学生 14人）

ボランティア：28人（延べ413人）

イ. 帰国・渡日児童生徒支援事業（自主事業）

来日のタイミングで中学校に在籍していない子どもたちを民間支援団体や大阪府教育庁と連携しながら高校進学への支援をしました。大阪府教育庁帰国・渡日児童生徒学校生活サポート事業三島地区実行委員会主催「多言語 進路・学校生活サポートガイダンス」を通して、市教委と協力し、高校進学など進路選択のための情報提供と相談に協力しました。

ウ. 子育て中の外国人支援「こあらくらぶ」（吹田市補助金事業）

外国人ママ・パパの日本での子育ての不安を和らげられるよう、お互いに共感したり、情報共有ができる交流の場をつくりました。子育て中の外国人と同じ世代のボランティアも多く参加し、絵本の読み聞かせや手遊び、折り紙など季節の行事も盛り込んだ活動をしました。また、真如苑市民防災・減災活動助成金による「多文化共生社会におけるこどもの命を守るための防災事業」の活動も実施しました。（月1回、水曜日に実施）

日程：5月19日 おしゃべり会（オンライン）

6月23日 南千里駅前ショッピングセンターでお買い物

7月7日 子育て相談・七夕遊び（ラコルタ）

9月21日 幼稚園入園にあたっての準備について（オンライン）

10月20日 外遊び千里南公園

11月17日 親子で学ぶ健康と防災（ラコルタ）

12月8日 正月飾り作り（ラコルタ）

1月19日 新年のお祝い・防災教室（ラコルタ）

3月2日 ひなまつり（ラコルタ）

参加者：外国人親子延べ16組 日本人親子延べ15組 ボランティア延べ22人

エ. 行政情報などの提供（自主事業）

・防災減災

吹田市より受領した町ごとの0才から14才、15才から65才、66才以上の年代と国籍別データを分析し、マッピングをしました。このデータをもとに、今後の在住外国人のための防災・減災事業を計画していきます。

・行政情報などの提供（自主事業）

緊急を要した案件について、通訳を依頼し、行政情報（医療、進学等）を提供しました。

オ. 使える日本語（自主事業）

中級レベルの学習者を対象に、講師がテキストを使用して授業を行いました。5名以上の学習希望者がいた場合に開講しました。1回1,100円の有料クラスです。今年度は、オンラインクラスとして開講し、仕事をしている学習者でも参加できるようにしました。

日程：全40回(昨年度 29回) 毎週木曜日 19:00-20:30

実施：オンライン

学習者：延べ224名(昨年度 160名)

カ. その他民間助成金による活動（宗教法人真如苑 市民防災減災助成金）

活動名：多文化共生社会におけるこどもの命を守るための防災事業

内容：子育て世代の外国人市民と地域住民を対象とした防災減災事業です。日頃からの地域住民とのつながりをつくるために子育てサークル等との連携強化に取り組みます。

期間：令和3年8月～令和4年7月 単年度事業)

助成金額：50万円

① 「親子で学ぶ健康と防災」

日時：11月17日(水)10:00-12:00

会場：ラコルタ

講師：松村直子(防災士)

内容：産婦人科医より女性や子どもの健康セミナーと、防災士による災害時の子どもの命の守り方について学びました。多文化まつり事業の一環として、こあらくらぶと同時開催しました。

参加者：7組

② 「防災教室」

日時：1月19日(水)11:00-11:30

会場：ラコルタ

講師：松村直子(防災士)

内容：100円ショップで購入できるものを使って災害時に利用できるペットボトルランタンの作成や簡易トイレの作り方を教えてもらうなど日頃の準備を含めた防災教室を実施しました。こあらくらぶと同時に開催しました。

参加者：9組

③ 「みんなで考える防災ワークショップ」

日時：2月18日(金)10:00-12:00

会場：ラコルタ 参加者：19名

講師：松村直子(防災士)

内容：ボランティアの日本語学習支援「日本語わいわい」の外国人学習者、ボランティア、行政職員、社会福祉協議会職員等を対象とし、災害時に起こり得る問題についてさまざまな立場の人たちともに解決策を考えるワークショップを開催しました。

④「防災動画撮影」

日時：3月15日(火)13:00-16:30

会場：SIFA

内容：災害時の対応について、上記①～③のイベントで扱った内容の動画を作成しました。(5月中旬に吹田市危機管理室職員へのインタビュー・備蓄倉庫見学、撮影を予定しています。)

参加者：4名(SIFA日本語学習者3名 撮影者：1名)

IV SIFA賛助会員

協会の事業への理解と支援を得るために、令和2年度活動報告書を作成しました。

	令和3年度	令和2年度
個人会員	438名 (438口)	510名 (521口)
外国人会員	124名 (124口)	96名 (96口)
法人会員	12法人 (12口)	11法人 (11口)
合計	(574口)	(628口)

V その他

【参加・協力】

留学生就職支援コンソーシアム SUCCESS 設置準備委員会

大阪府災害時外国人支援ネットワーク会議

大阪府外国人向け行政情報提供窓口相談員ネットワーク会議

大阪府自治体国際化推進連絡会議

大阪府識字・日本語学習コーディネーター会議(大阪府教育庁)

外国人相談窓口連絡会(大阪出入国在留管理局)

ネットワークおおさか

国際交流協会オンライン情報交換会(OFIX)

関西大学留学生別科入学式・修了式

吹田市災害支援ネットワーク会議 (主催：吹田市社会福祉協議会)

ひょうご防災リーダー講座フォローアップ研修リアル避難所運営訓練（兵庫県）

近畿ブロック地域国際化連絡会議及び多文化共生地域会議（総務省）

NATS 国際交流協会協議会

【後援】

- ・事業名：第 21 回 2021 多民族共生人権研究集会
主催団体：第 21 回 2021 多民族共生人権研究集会実行委員会
開催日：7 月 21 日
- ・事業名：ワークショップ&講座「多言語で育む未来」
主催団体：(一財) 言語交流研究所 ヒッポファミリークラブ
開催日：2 月 20 日（日）
- ・事業名：ワールドキャンパスインターナショナル吹田市訪問事業
主催団体：吹田国際隣人グループ SING
開催日（期間）：令和 4 年 7 月から令和 4 年 7 月 14 日まで

【調査研究協力】

社会的結束に関する調査への協力（日本ユニセフ ヨルダン駐在員）

健康保険及び厚生年金保険に係る調査の実施（日本年金機構吹田年金事務所長）

令和 3 年度経済センサス（総務省、経済産業省）

識字・日本語教室ボランティア調査（識字・日本語センター）

【職員研修】

「効果的なイベントをつくる - 企画から周知まで -」

【研修参加】

「令和 3 年度多様性社会を生きる「次世代」の育成～外国につながりを持つ子どもたちへの
学習支援」（公財）全国市町村研修財団

「SDG s オンラインワークショップ」

「地域における漢字学習支援研修」（ダイバーシティ研究所）

「相談員・通訳者向研修会」（大阪府国際交流財団）

「やさしい日本語研修」（大阪府国際交流財団）

「弁護士研修会」（ネットワークおおさか）

「相談に関する研修会」（ネットワークおおさか）

「こどもひろば」・外国にルーツをもつ子ども支援ネットワークオンライン研修会（大阪国
際交流センター）

「パワーハラスメント発生防止セミナー」

【発表等】

- 「新型コロナウイルス感染症ワクチンの情報の整理」多文化共生マネージャーサロン
「吹田市の広域連携の事例について」『災害時における広域連携について』大阪府災害時外国人支援ネットワーク会議
東南アジア学会『東南アジアにルーツをもつ子どもたち』 コメンテーター

【令和3年度吹田市財政援助団体等監査】

- ・ 事前監査
日時： 9月14日（火）10:00 から 17:00
場所： SIFA
- ・ 本監査： 10月27日（水）13:00 から 14:00
場所： 本庁監査委員事務局

【理事会・評議員会など】

ア. 理事会・評議員会

- ・ 第1回通常理事会：令和3年5月10日
 - 議案第1号 令和2年度（2020年度）公益財団法人吹田市国際交流協会事業報告及び決算の承認について
 - 議案第2号 令和3年度公益財団法人吹田市国際交流協会収支補正予算書の承認について
 - 議案第3号 公益財団法人吹田市国際交流協会理事及び監事の任期満了に伴う次期候補者の推薦について
 - 議案第4号 令和3年度公益財団法人吹田市国際交流協会定時評議員会の招集について
 - 報告第1号 次期評議員の選考結果について
 - 報告第2号 理事長・副理事長職務執行状況報告
- ・ 定時評議員会：令和3年3月25日（みなし決議）
 - 議案第1号 令和2年度公益財団法人吹田市国際交流協会決算の承認について
 - 議案第2号 令和3年度公益財団法人吹田市国際交流協会収支補正予算の承認について
 - 議案第3号 公益財団法人吹田市国際交流協会理事8名と監事1名の選任について
 - 報告第1号 令和2年度公益財団法人吹田市国際交流協会事業報告について
 - 報告第2号 評議員選定委員会の選考結果について

- ・第1回臨時理事会：令和3年5月25日
 - 議案第5号 公益財団法人吹田市国際交流協会理事長並びに副理事長及び専務理事の選定について
- ・第2回臨時理事会：令和3年8月9日（みなし決議）
 - 議案第6号 令和3年度公益財団法人吹田市国際交流協会の補正予算の承認について
 - 議案第7号 令和3年度公益財団法人吹田市国際交流協会臨時評議員会のみなし決議について
- ・第2回通常理事会：令和4年3月8日
 - 議案第8号 令和4年度公益財団法人吹田市国際交流協会事業計画書(案)について
 - 議案第9号 令和4年度公益財団法人吹田市国際交流協会収支予算書(案)について
 - 議案第10号 令和4年度公益財団法人吹田市国際交流協会資金調達及び設備投資の見込みについて
 - 議案第11号 令和3年度公益財団法人吹田市国際交流協会第2回臨時評議員会の招集について
 - 議案第12号 令和4年度公益財団法人吹田市国際交流協会事務局長任免について
 - 報告第3号 理事長及び副理事長職務執行状況報告
- ・第2回臨時評議員会：令和4年3月22日
 - 議案第5号 令和4年度公益財団法人吹田市国際交流協会事業計画書（案）について
 - 議案第6号 令和4年度公益財団法人吹田市国際交流協会収支予算書（案）について
 - 議案第7号 令和4年度公益財団法人吹田市国際交流協会資金調達及び設備投資の見込みについて
 - 報告第3号 公益財団法人吹田市国際交流協会事務局長の任免について

イ. 公認会計士による決算監査の実施

- ・令和2年度決算監査：令和3年4月27日

ウ. 監事監査の実施

・令和2年度決算監査：令和3年4月28日

令和3年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和4年5月
公益財団法人 吹田市国際交流協会